



第31回
住まいのリフォームコンクール
入選作品



第31回リフォームコンクール

住宅リフォームの普及促進と質の向上を図るために、「住まいのリフォームコンクール」を開催しました。単に「リフォーム」と言っても多岐に渡り、これからの高齢化社会に配慮したバリアフリーリフォーム、地震に備えての耐震改修、地球環境には配慮した省エネリフォーム、伝統技術の伝承を生かした古民家再生、長く使える工夫を施したリフォームなど様々です。

数ある応募作品の中でも、特に安心・安全・快適な住まいへと変貌を遂げた「リフォーム事例」の受賞作品をご紹介します。様々な創意・工夫に溢れた良質なリフォーム事例に触れることで、今後リフォームを考える方々の少しでもヒントとなれば幸いです。



第31回「住まいのリフォームコンクール」審査講評

住まいのリフォームの優れた事例を表彰してリフォームを推進することを目的とした、(公財)鹿児島県住宅・建築総合センターの主催する「住まいのリフォームコンクール」は今年で31回目となった。今年の応募作品は、木造や鉄筋コンクリート造の築80年から築18年までの15件で、築40年代から築20年代が12件と全体の8割を占め、木造戸建て住宅が10件、RC戸建て住宅3件、RC共同住宅が2件だった。近年、各地で豪雨災害等の異常気象が頻発し、地球温暖化による影響が指摘されている。そのため、建築のライフサイクルCO2[LCCO2建築物の建設・運用・解体までの期間に発生する二酸化炭素排出量を1年あたりに換算した数値]の削減が求められている。建物の使用期間や環境性能に左右されるが、建設・解体時のCO2排出量も大きいので、改修により環境性能を上げながらできるだけ長期間建物を使い続けることがCO2排出量の削減に寄与すると考えられている。木材は光合成によりCO2でつくられているため、木造建築はまちや都市にCO2を蓄える効果があり、地球温暖化防止に貢献すると言われている。一方、鉄筋コンクリート建築の寿命は、これまでコンクリートの中性化が鉄筋に達するまでの期間とされ、おおよそ50年程度と考えられてきたが、2022年度版JASS5[日本建築学会 工事標準仕様書]で次のように改定される。「鉄筋コンクリートの耐久性を評価する際、中性化が鉄筋の位置まで進行するか否かで建物の寿命を判断していたが、鉄筋の位置まで中性化が進行しても、乾燥していれば鉄筋は錆びない」、つまり中性化は寿命に関係ないと大きく変更される。鉄筋が錆びない非腐食環境の場合、室内は中性化をまったく考えなくてよく、外部についても水が躯体に入らないようにすれば同様の耐久性が得られる。これまで50年前後で老朽化により建替えといった常識が間違っていたことになるのである。鉄筋コンクリートの物理的な寿命は百年以上であり、税法上の期間のみが50年ということになる。ライフサイクルCO2の削減に向けたこれらの考えは、今後、リフォームして建築を使い続けていくことの大きな後押しとなっていくであろう。

さて、今年度の審査委員会は9月14日に開催され、最初に7名(内1名はリモート参加)の審査委員が15件の応募作品を各自読み込んだ後、一人7票を各作品に投票したところ、6票が2作品、5票が3作品、4票が3作品、3票が2作品、2票が1作品、1票が2作品となった。各作品の得票を踏まえながら、審査員が、一つ一つ作品の評価できる点や問題点について慎重に意見を交換した。その結果、2票の1作品は、他に例のない浴室と窓のみのリフォーム作品のため再投票の範囲に残し、0票と1票の4作品をはずした11作品に審査員一人5票を再投票した。しかし、また票が分かれたため、再度意見交換した上で、4票以上の4作品に一人2票ずつ再投票し、5票の築80年の木造戸建て作品に県知事賞、4票の築42年の戸建て作品に理事長賞、3票と2票の作品を企画賞に決定した。そして先の再投票で3票だった3作品から、1作品を耐震補強等が評価できる特別賞、他の2作品を奨励賞として相応しいと意見が一致した。また、浴室と窓のリフォームの作品がユニットバスを採用せずに改修していることもあり、部門賞とすることにした。

今回は、リフォーム内容が多岐にわたり、審査員の評価が分かれ、各作品の評価は僅差だった。特に最後まで築80年の木造戸建て作品は、浴室が平面図で確認できず住宅以外の用途で使われている可能性があり、県知事賞の対象として適格か、用途や法的問題に関して意見が交わされた。このコンクールでは、現地審査を実施していないため、提出された書類での判断となるが、2019年6月に施行された改正建築基準法で、地上3階建て以下で200m²未満の建物を特殊建築物に用途変更する際に、柱、梁といった主要構造部の耐火構造への改修を不要とし、確認申請が不要な規模も変更後の用途の床面積が200m²以下までに拡大されていることから、適法であるとの結論になった。また、このコンクールはもとも住宅から住宅への改修が応募の条件としていたが、現在は住宅から他用途へのリフォームも表彰対象としているため県知事賞として問題ないとの結論に達し、投票結果を最終的な審査結果とした。審査終了後、各応募者・設計者・施工者が事務局より審査員に開示され、また、今後のコンクールの募集内容等について意見が交わされた。

住まいのリフォームコンクール審査委員会

委員長 鯉坂 徹「鹿児島大学大学院理工学研究科 教授」

■審査委員

委員長	鯉坂 徹	鹿児島大学大学院 理工学研究科 工学専攻 建築学プログラム教授
委員	梅野 一郎	(一社)鹿児島県建築士事務所協会副会長
委員	打越 綾	(公社)鹿児島県建築士会女性部会幹事
委員	桑原 耕	(一社)鹿児島県建築構造設計事務所協会会長
委員	岩元 ミユキ	鹿児島県インテリアコーディネーター協会会長
委員	上村 康孝	鹿児島県土木部建築課住宅政策室室長
委員	松尾 浩一	(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター理事長

知事賞 「未来へ繋ぐ古民家」

築 80 年の木造平屋の古民家の魅力を残しながら、長寿命化、環境性能、機能向上に取り組んだ作品。瓦を葺き替え、外壁を補修し、まず古民家の長寿命に欠かせない雨水の侵入を防いでいる。床全面と外壁に断熱材を設置し、環境性能を向上。和室の一部をフローリングに改修、襖をはずして大広間とし、腐朽した床板を撤去して三和土の土間にする等、使える機能に更新した。また、既存の床の間、書院等々の造作を残しながら、聚楽壁を漆喰壁に塗り替え、ある意味、時間の巻き戻しまで行い古民家のよきところが隅々に散りばめられている。子どもたちがのびのび暮らせる（遊べる）空間にしたと書かれ、浴室も撤去されていることから、住宅というより多目的空間に改修され、古民家を何らかの用途として使い続けている点も評価できた。古民家は新建材でなく、地域のほんものの材料が使われており、その魅力を熟知した設計手腕が素晴らしく、鹿児島県知事賞に選定した。

企画賞 「夫婦と共に或る家」

築 35 年の平屋を夫婦二人が老後を楽しむためにリフォームした作品。昭和末期の住宅なので中廊下・縁側があり、4 つの和室と LDK の構成だった。その平面形を大きな LDK と洋室主体の間取りに変更し内部を全面的に改修するだけでなく、認定長期優良住宅化リフォーム推進事業に申請し、インスペクション、耐震診断を実施、基礎の補強や耐力壁の増設を行った。外断熱、垂木間断熱、開口部交換により断熱性能を高め、熱交換型換気設備が設置されている。新築同様の質の高いインテリアに改修されており、技術面の評価も高かった。ガレージと一体化しているが法的な問題もないことが確認され企画賞となった。

奨励賞 「老後を見据えたフレキシブルな住まいへ」

築 44 年の鉄筋コンクリート 12 階建ての 3LDK をリフォームした作品。5 年間賃貸で利用し、5 年後の移住を目指しての改修。下階への騒音防止を目指した下地材やフローリングが施工され、施主が伐採した銀杏がキッチンのカウンターに使われている。間仕切りの引戸や袖壁等が改修され開放的な空間となっており評価された。

特別賞（耐震改修） 「三世代が 安心安全に集う 松元の家」

築 40 年の父親の建てた平屋の木造住宅を 3 世代同居の住宅にリフォームした作品。作業場を解体しその部分を水回りに改築し、全体の耐震性能の向上に役立てている。鹿児島市の耐震診断・改修工事補助金を使い耐震補強を実施、その補強内容の写真が添付されており審査員から好評だった。また、環境共創イニシアチブの次世代建材補助金を活用し、天井・壁・建具の改修が実施され、それらも写真から確認することができた。耐震と環境性能の双方の向上が評価され、最も特別賞に相応しい作品として特別賞に選定された。

理事長賞 「開聞岳を臨む家」

指宿市の築約 42 年の木造平屋の住宅のリフォームで、内部空間が一新された作品。南側の縁側と思われる部分を取り込み、広々としたリビングダイニングの空間となっている。北側の 6 畳も和室も一体利用が可能で、収納は別棟の倉庫が利用され見通しの良い明るい印象で好感が持てる改修である。断熱材の施工や、ガラスも真空層のあるペアガラスに交換、住宅設備も更新され、環境性能の向上が確認できる。旧来が戦後の住宅なので大壁構造だったと推測されるが、柱等の構造材がすべて覆い隠されており、シロアリ等の対策や構造補強についての記載がなかったが、表題や写真等により審査員が理解しやすく好感がもてる提案となり、理事長賞となった。

企画賞 「リノベで住まう！新しいわが家」

築 30 年の鉄筋コンクリート 2 階建てを 30 代の子育て 4 人家族が購入してリフォームした作品。新耐震の壁式構造のため、既存構造壁でない間仕切壁を撤去して 27 畳の LDK に改修、1 階はご主人の仕事部屋を除き、ほぼワンルームとして利用できる空間となっている。新築より遥かに安い改修費で、快適な新築同様の住宅となっている点が評価され企画賞となった。ただ、全面的な環境性能の向上でないこと、鉄筋コンクリートの屋根防水の改修や補修が記載されていないことが若干残念であった。

奨励賞 「ちょっと気分の上がる毎日へ #a feel good room」

築 18 年の鉄筋コンクリート造賃貸住宅のリフォームで、長期間空室だった住戸の改修により入居を促進することができた作品。3 部屋 + DK だった構成を 2 部屋 + LDK としてインテリアを全面改修し、水回りも更新されている。郊外で今でも新築アパート等の建設が見られるが、少し古くなった共同住宅をリフォームして空室を減少させ、新築を抑制できれば地球温暖化防止に貢献できる可能性がある。そのためにも、建具や壁の断熱についても今後は配慮されることが望ましいと思われる。

部門賞 「檜の香りで満たされた癒しの家屋」

築 25 年の木造住宅の浴室と窓の部分リフォームの作品。浴室をタイル貼りから檜の羽目板に改修、ユニットバスを使わずに信楽焼の浴槽を設置、全室の窓の内側に鹿児島産檜の木製建具を設置し、建物の環境性能の向上を目指している。部分リフォームではあるが、施主の気になる点を上手く改修している点が評価できる。



知事賞

「未来へ繋ぐ古民家」

株式会社 建築工房 workspace

.....1



理事長賞

「開聞岳を臨む家」

(有)幸福住建

.....2



企画賞

「夫婦と共に或る家」

株式会社 正匠

.....3



企画賞

「リノベで住まう！新しいわが家」

(有)イヤタニ工務店

.....4



奨励賞

「老後を見据えたフレキシブルな住まいへ」

株式会社 アリマコーポレーション

.....5



奨励賞

「ちょっと気分の上がる毎日へ
#a feel good room」

ユーマーコーポレーション株式会社

.....6



特別賞 (耐震改修)

「三世代が 安心安全に集う 松元の家」

株式会社 建築工房

.....7



部門賞

「檜の香りで満たされた癒しの家屋」

(有)西谷工業

.....8

リフォーム前



施工前玄関



施工前外観1



施工前外観2



施工前和室



施工前キッチン



施工前床の間（書院）



施工前
和室6帖床腐朽のため使用不能



施工前縁側

リフォーム前平面図



設計施工のポイント（増改築等の工夫）

子供達が、のびのびと暮らせる（遊べる）空間のするのに苦慮しました。和室の書院は勉強机になり、間仕切りのボルダリングの壁を上り収納スペースの天井を通り縁側にはしごで降りて、雲梯を制覇するコースが出来上がりました。子供達の安全を確保する為、縁側の障子は、ワーロン紙へ、ガラスはアクリル板へ替えました。

古民家で言われがち（暗くて寒い、収納やコンセントが少ない、部屋が広すぎてどう使えばいいのか分からない？等々）を解決できたのではないかと思います。また、古民家の魅力である陰影のバランスを残しつつ、現代人の生活様式の沿った改修工事を実現出来たと思います。

施主様から室内に子供達の遊び場もでき、古民家の心地よさに満足しているとお声を頂きました。古民家を通じて未来の子供達の架け橋となれた事、とてもうれしく思います。

改修後は、児童発表支援の施設として利用されています。

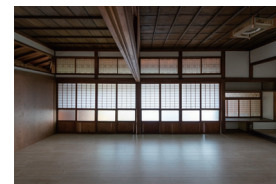
リフォーム後



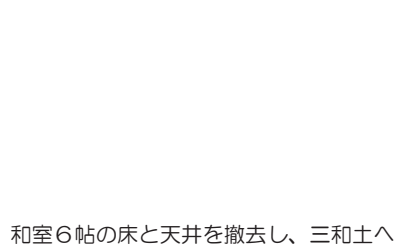
瓦・外壁の修繕、外壁は透水シート・木板（下見板）の設置



和室の襖を外し床を畳からフローリングへ



和室の畳下の木材を用いて間仕切り壁に使うことで収納やコンセント等の設置、床と外壁に面する内装の壁面に断熱材設置



和室6帖の床と天井を撤去し、三和土へ



縁側完成



リフォーム後平面図

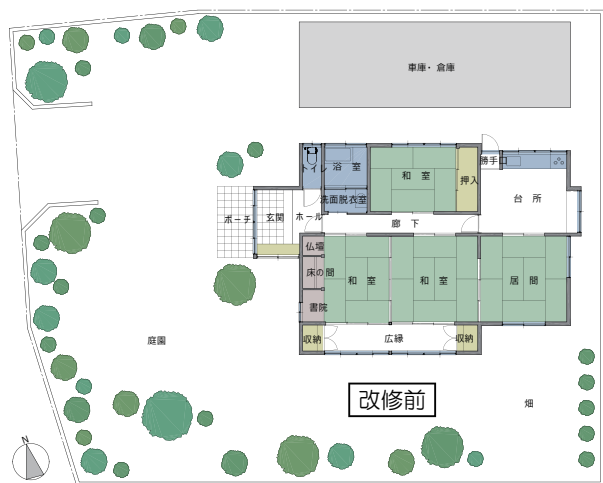


応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
(株)建築工房 workspace	同左 大城 孝一	(株)建築工房 workspace	80年	木造平屋建て	一戸建て	2021年4月	70日間	1600万	始良市	内部改修・外壁塗装・模様替え



リフォーム前

リフォームした住宅は開聞岳の麓にある築42年、約30坪の庭付きの平屋。周囲には田園風景が広がり、建物も敷地内も緑に囲まれていて南側の窓から開聞岳が見えるのどかな環境。屋根の瓦は数年前にリフォームしており、雨漏り部分の修繕のみを行った。外壁は前のオーナーの手入れが行き届いておりほとんど傷んでいなかったので最低限の修繕とし、ライフスタイルに合わせた間取りの変更を含め、既存構造材をそのまま残した内装、水回りの全体的なリフォームを行った。



■ 続き間の和室



■ 玄関ホール



■ 台所

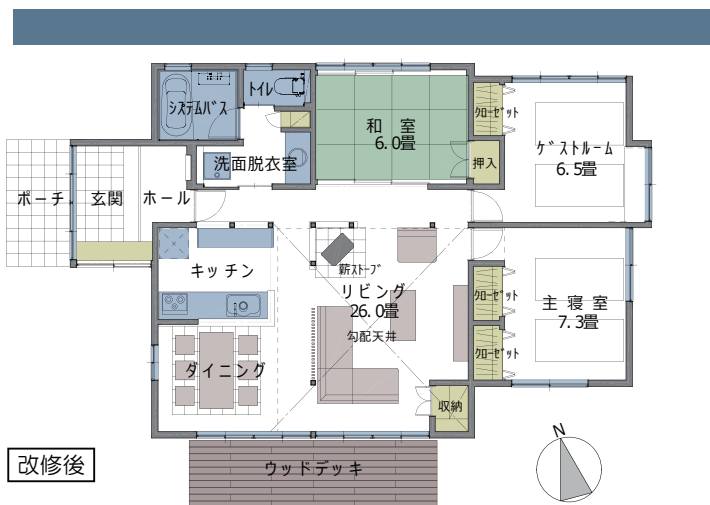


■ 小屋裏状況

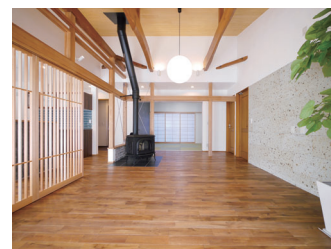
リフォーム後



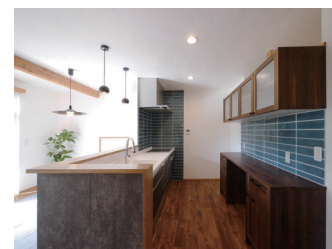
■ リビングへとつながる和室



リビングの真ん中には建て主の長年の憧れだった薪ストーブを設置し、開聞岳を眺めながらリビングでくつろいだり、庭いじりや野菜を栽培したり充実したスローライフを送っています。



■ 勾配天井のリビング



■ オープンキッチン



■ 開聞岳の見えるリビング



■ 対面式のダイニングキッチン



■ ホテルライクの洗面脱衣室



■ 格天井の玄関ホール

陽当たりのよい南側の続き間の和室部分を生活の中心となるリビング・ダイニングスペースにしました。既存の柱や梁、小屋束などを現しとした勾配天井は木造の構造美を感じられる空間となっています。間取りの変更に伴い、既存の筋交いを取り外した部分は意匠性を考慮し筋交いプレースを設置したり、構造補強として制震ダンパーを使うなど耐震性能も向上させています。水廻りを一カ所にまとめた動線計画を行うことで生活の利便性や快適性を上げるほか、壁・天井には高性能断熱材の施工を行うことに加え、既存アルミサッシのガラスを真空層のある複層ガラスにすべて交換することで室内の断熱性能を高めています。節水型の住宅設備に交換し、給湯器をエコキュートにすることで省エネ性の向上も図ったリノベーション住宅です。

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有限会社 幸福住建	幸福住建一級建築士事務所 福永知哉	有限会社 幸福住建	42年	木造	一戸建て	2019年12月	120日間	2000万	指宿市	内部全体リフォーム

リフォーム前



▲玄関から続く広縁



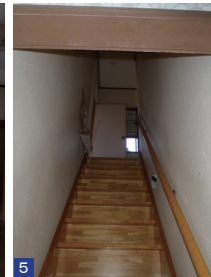
▲南側の外観



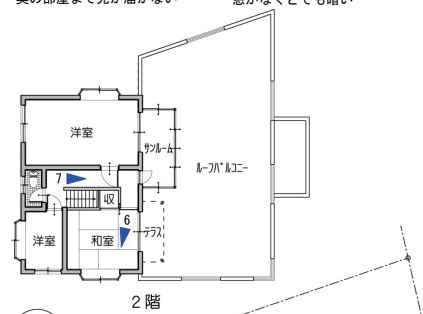
▲広縁側の和室と洋室
奥の部屋まで光が届かない



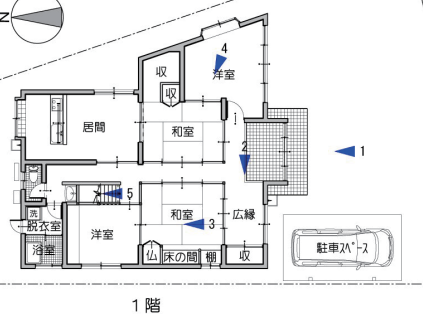
▲洋室から続く和室
意がなくなるとも暗い



▲勾配がかなり急で危ない階段



2階

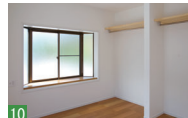


1階

リフォーム後



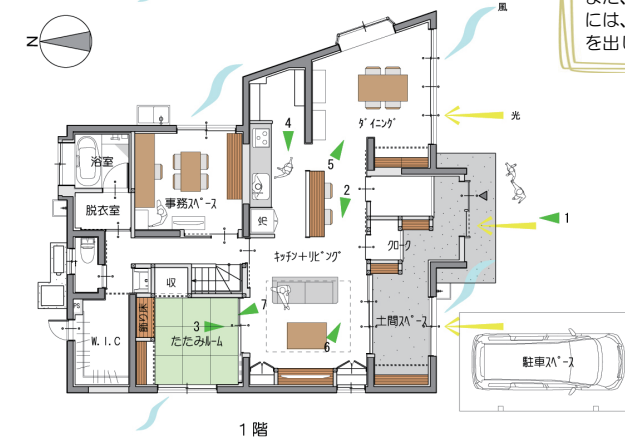
▲玄関ドアを取替え、より落ち着いた印象の外観



▲フローリングの寝室へ



2階



1階

30代のご夫婦＋お子様2人の子育て世帯が、利便性のよい場所にある中古住宅をリノベーションを前提に購入。明るく暮らしやすい住まいを目指し、内部のリノベーションを中心とした工事を行いました。

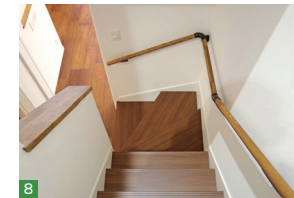
1階は光が入らず暗かったため、採光がとれるよう間取りの変更を行い、2階はバルコニーから光が入り明るかったため、基本的な間取りは既存のままとしコストダウンを図りました。

水回りは、浴室・脱衣室が狭く使いにくかったため、広さが確保できる位置に移動しました。また、2階サニタリーでの物干しを想定して、洗濯室を2階に新設しました。他にも、1階は部分断熱改修を行い、住まいの快適性を高めました。



▲6

・自宅でも仕事をしたい・
ご主人が自宅で事務作業をするための独立した事務スペースを設けました。また、仕事道具を置く広い土間スペースには、駐車スペースから土足のまま荷物を出し入れできます。



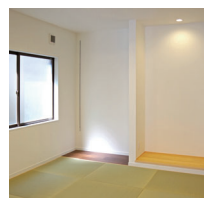
▲8

・急な階段を安全にしたい・
勾配がかなり急で危なかった直階段を取替え、かね折れ階段とする事で段数が増え緩やかな勾配となり、安全性も確保しました。



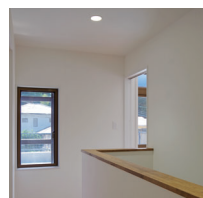
▲2

・広くて明るい、家族が集まるLDK・
小さく区切られていた1階南側の3部屋をワンルームとして27帖もある大空間のLDKとしました。リビングと土間スペースを仕切る建具を開ければ、更に広がりある空間となります。土間スペースを介して、少しでも多くの光を取り込むため、建具には採光面の広いものを採用しました。ダイニングや玄関まわりの動線に回遊性を持たせているので、わんぱく盛りのお子様も元気に走り回ることもできます。



▲7

▲引き込み戸によりリビングと一体で使えるたたみルーム



▲9

▲壁を撤去して、階段から1階へと光を導きます

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
(有)イヤダニ工務店	(有)イヤダニ工務店 設計事務所	(有)イヤダニ工務店	30年	鉄筋コンクリート造	一戸建て	2020年10月	100日間	1300万	鹿児島市	内部全面リフォーム・断熱改修

リフォーム前

リフォームに至った経緯

- ・子育てが終わり、新婚 1 年目で建てた平屋の家をご主人の定年退職を機に夫婦二人で老後を楽しめる様にしたい。とのご要望から始まったリノベーションの計画。
- ・既存建物には断熱材が天井にしか入っておらず、温度差の激しい室内環境を改善する必要がありました。

設計主旨

- ・既存の間取りは和室が並び、それに沿うように中廊下や縁側がある昔ながらの日本家屋でしたが、新しい間取りでは長く過ごす LDK を建物の中心に置き、周辺に各室を配置して動線を短くしました。
- ・老後の生活も考慮し、寝室からトイレまでの動線を短縮し、間に洗面を設けることで使いやすさも確保。
- ・奥様が買い物からの帰宅時には、上着を納戸のハンガーに掛けそのまま手を洗い、キッチン・パントリーへ行けることが出来る様にしました。
- ・既存の車庫と本宅を土間部屋で繋ぎ、車庫と土間部屋の間に FIX 窓を新設。土間部屋は車庫の中の旧車を眺めながら音楽とお酒を楽しむ、ご主人の趣味部屋になりました。



A 既存車庫



B 北側外観



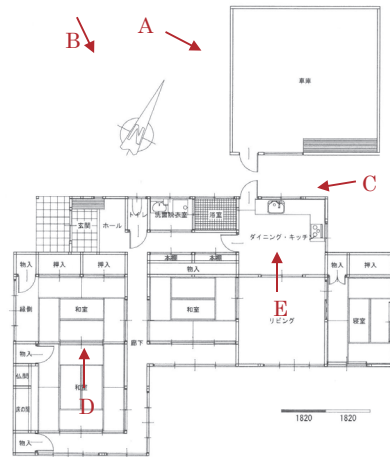
C 本宅と既存車庫の間



D 既存和室



E 既存キッチン



リフォーム後

住宅性能面

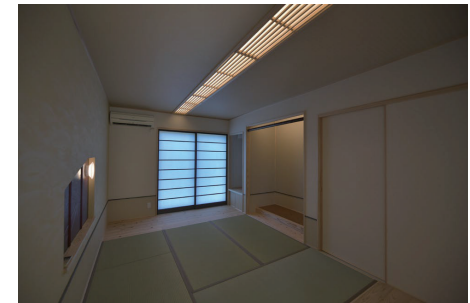
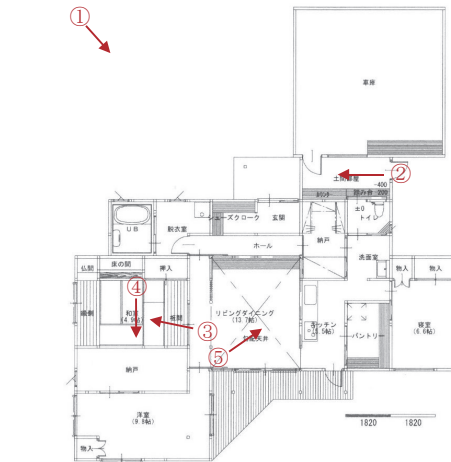
- ・認定長期優良住宅化リフォーム推進事業に申請しインスペクション、耐震診断を行いました。耐震診断の結果を受け、基礎の補強を行い、筋交いと構造金物にて耐力壁を増やしました。
 - ・断熱性能は押出法ポリスチレンフォームによる基礎内断熱、壁の外断熱、屋根の垂木間断熱と開口部の全交換を行い、UA値=0.73、 nAC 値=1.6 へ。換気設備も熱交換型ダクトレス第一種換気設備を採用。
- また、各部屋を仕切る建具は全て吊り戸を採用して、段差と各部屋間の温度差を解消し、室内の温熱環境にもこだわりました。



①車庫・外観
車庫は繋いだ母屋の外壁の色に合わせて塗装。母屋はモルタル仕上げの壁を解体し通気層を設けてサイディング貼りへ。



②母屋と車庫を繋ぐ土間部屋
写真右側の FIX 窓から車庫内の旧車を見ることができます。



③和室は 1 部屋残して、客間として使用。天井埋め込みの造作照明で旅館の様な雰囲気へ。



④ 撤去予定だった奥様の婚礼家具の箆笥の扉を外して和室の壁へ。家と共に年月を重ねた桜島は奥様のお兄様が掘ったものです。



⑤ LDK は既存の梁を見せ、勾配天井へ。TV カウンターの壁には足場板と間接照明を設置。

応募者・設計者・施工者

株式会社 正匠

築年数

35 年

構造

木造平屋

建方形式

一戸建て

竣工

2021 年 2 月

工事期間

180 日間

工事費

2767 万

所在地

始良市

リフォーム内容

全面リフォーム+増築

リフォーム前

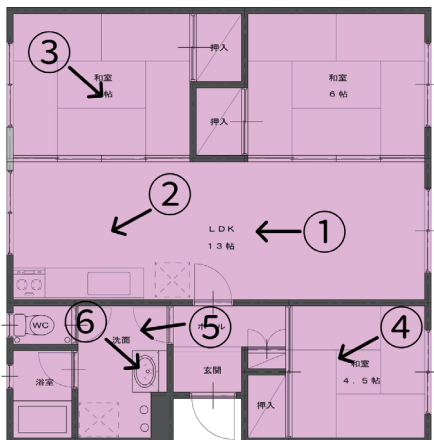


▲間口の狭いLDKで家具の配置が難しい。

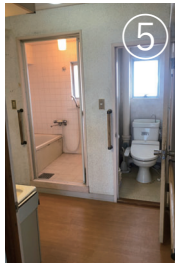
【基本構想】

築44年のマンションの全面リフォームを行い、5年間は賃貸物件として貸し出し、5年後に移住する計画であるとのこと。

早期に賃貸契約ができるよう、万人受けするデザイン、且つ、金額は最小限で、という課題を受け、予算的にも厳しい中デザイン性、使い勝手にこだわった設計を提案した。



▶洗面台横に污水配管が露出している。築年数を感させる洗面脱衣室。



リフォーム後



【デザインの特徴】

LDKの間口が狭く、各部屋を個別化すると圧迫感があるため、各部屋に引き込み戸を設け、借主の住み方によって、個室化や、LDKを広くできるような柔軟性を持たせる設計とした。また、お施主様が伐採し、乾燥させた銀杏の木を製材し、キッチン間仕切のカウンター・天板として再生。一味違うカウンターとなった。



【技術的な工夫】

共同住宅では必須の、下階への騒音防止策であるが、防音床下地材を採用し、一般的な複合フローリング材を施工した。また、洗面所では污水配管が露出していた為、点検口を設け清掃性に配慮し、配管を隠した。よって築44年とは思えない、綺麗な洗面所になった。



応募者・設計者・施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
(株)アリマコーポレーション	44年	鉄筋コンクリート造 12階建	共同住宅	2020年12月	60日間	600万	鹿児島市	全面リフォーム



リフォーム前

玄関



やや暗い印象の玄関

洗面化粧台



経年劣化が進み、傷みや黄ばみが見られる

洋室



一般的な賃貸のクローゼット

和室



生活スタイルの変化から敬遠されがち和室

キッチン



経年劣化による傷みが見られ、冷蔵庫スペースは広さに制限あり

リフォーム後

アイアン製のオリジナルデコモドとネイビーの扉がアクセント

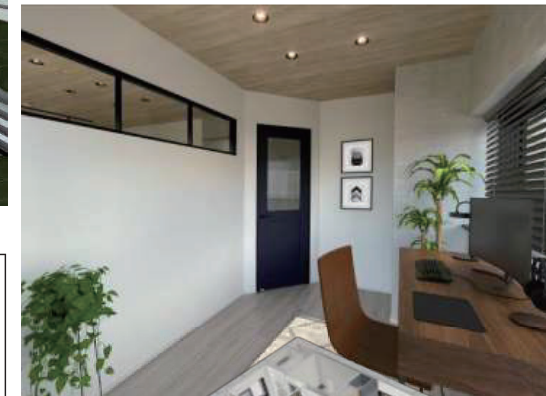


- リビングに奥行きと広さを出すため、対角線にキッチンを配置
- 洋室の一部を斜めにすることで視線の抜けを確保。そこにアクセントになるネイビーの扉を配置
- 狭く暗かった玄関は、ホワイト系で明るい印象にし、ドアノブやつまみは黒で統一
- 照明を各部屋に配置し入居者の持ち込みを軽減

クローゼットは通気性と利便性から扉を撤去し中には便利な身支度スペース



テレワークで気になるのは画面に映る背景。デコモドが映えるよう高さを調整



リフォーム前平面図



設計施工のポイント（増改築等の工夫）

- ・3DKの間取りを2LDKに変更し、広めのリビングとリモートワークを念頭に置いた部屋づくり。
- ・デザインは「くつろぎと安らぎを感じるカフェ風プラン」とコンセプトを定め、クロス、フロアタイル、建具等を落ち着いた色味でまとめた。
- ・リモートワークで求められる背景にはアイアンによるデコモドが映えるように特注にて設置。
- ・洗面脱衣室の洗面キャビネットミラーは使いやすさと空間を活かすデザインを意識しアイアンで特注。
- ・照明計画は全室ダウンライトやスポットライトを設置。落ち着いた光の効果で安らげる住まいを演出。
- ・施工においては解体による廃棄量を抑えるため、既設部材の劣化状況の見極めを行い、なるべく既存の材料を活かせるよう工夫した。

リフォーム後平面図



応募者・設計者

施工者

築年数

構造

建方形式

竣工

工事期間

工事費

所在地

リフォーム内容

ユーマーコーポレーション株式会社

株式会社橋口組
(協力業者：(有)FARE)

18年

鉄筋コンクリート造

鉄筋コンクリート造
(3階)

2021年6月

46日間

343万

薩摩川内市

リノベーション
(3DKから2LDKへ変更)

リフォーム前



和室6帖 A



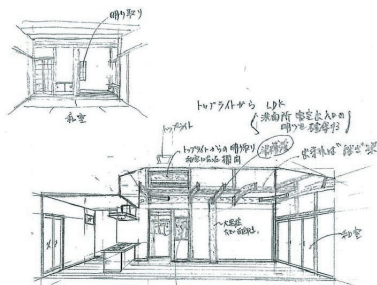
洗面脱衣 浴室



縁側



洋室2

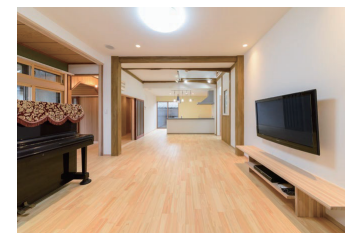


イメージスケッチ

リフォーム後



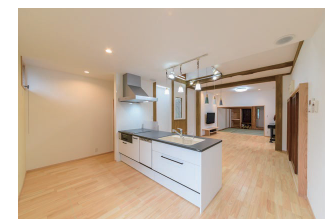
間に明窓を設けた和室 A



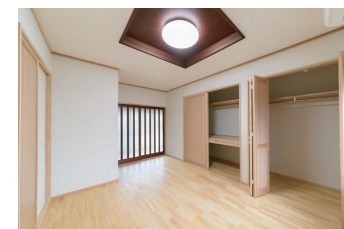
LDK~キッチン



飾り欄間を再利用

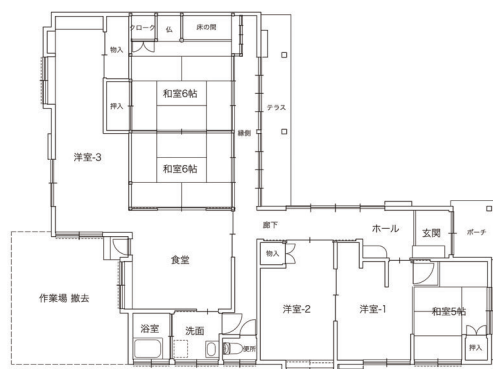


父との思いでがいっぱい



折り上げ天井を再利用した洋室2

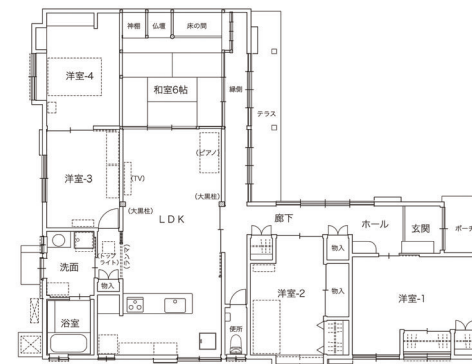
リフォーム前平面図



設計施工のポイント (増改築等の工夫)

- 父親の建てた和風の家に2世帯(3世代同居)住宅を計画し、お互いのプライバシーを確保しながら楽しく生活したい
- 敷地内の作業場を解体し住宅部分として利用耐震性能を上げた。
- 既存住宅は、利用の多いDK・居間が薄暗い間取りで冬は寒く夏は暑い住宅になっており、断熱性能をアップする目標になりました。
- 家族が集まるLDKを広く明るい空間にしました。トップライトからの部分に再利用の「飾り欄間」を取り付けました。中央部に大黒柱を設け、柱、土台の補強を十分に配慮し安心安全な建物にしました。
- 上部構造評点0.51から1.08に補強・火打ち梁、筋交い補強
- 内窓 アルゴンガス入りPG・複合サッシ高性能ガラスウール105mmカネライトフォーム40mm等使用した。

リフォーム後平面図



応募者・設計者・施工者

(株)建築工房匠

築年数

40年

構造

木造

建方形式

戸建て

竣工

2021年1月

工事期間

120日間

工事費

1650万

所在地

鹿児島市

リフォーム内容

全面リフォーム+増築

リフォーム前

① 浴室



③ 浴室解体



⑤ 浴槽の運搬



② 室内窓



④ 防水工事の様子

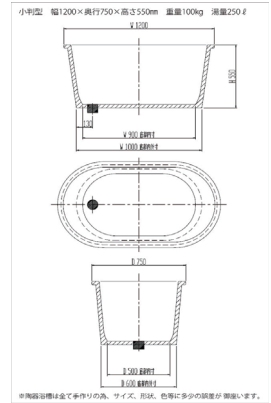


↑浴室の要である浴槽は、信楽焼で作られているため重量も中々。成人男性3人でやっと持ち運べる程でした。

←絶対に水漏れさせない重要なポイント！防水職人の智慧と技術です。

リフォーム後

① 改修後浴室



←今回使用した陶器製浴槽

② 改修後室内窓部分



リフォーム前平面図



設計施工のポイント（増改築等の工夫）

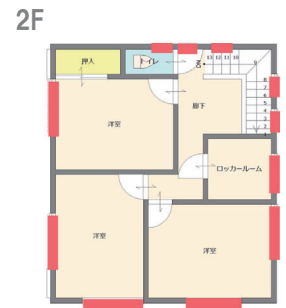
施主様の奥様は和のテイストがお好きな方でした。内観においても和を醸し出すことを重要視されていて、アルミや樹脂の冷えやすい二重窓ではなく、木材を使用した暖かい二重窓を求められていました。その過程で、檜を使用することをご希望されたのも施主様ご一家です。

浴室には檜の羽目板を縦張りにして、狭い空間が広く見えるように工夫を。浴槽部分には檜によく合う信楽焼の浴槽を用いて重厚感を出しました。窓部分には木の節が入ると違和感が出るため、一律無節のものを使用しています。

最終的に高級感のある浴室が出来上がり、施主様にも大変喜んで頂く事ができました。

また、今回の施工箇所で使用した檜はすべて鹿児島県産となっているため、地元愛の深いリフォームにもなりました。

リフォーム後平面図



■ = 改修部分

応募者・設計者

施工者

築年数

構造

建方形式

竣工

工事期間

工事費

所在地

リフォーム内容

(有)西谷工業

西谷 誠

25年

木造

一戸建て

2021年5月

18日間

400万

鹿児島市

浴室・窓全体



今年で第31回を迎える「住まいのリフォームコンクール」は、
広く県民の方々に住宅リフォームの普及促進と質の向上を図るべく、
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター主体の元、実施しているものです。

令和3年10月

発行：鹿児島県住宅リフォーム推進協議会

